



身延小だより

身延町立身延小学校 TEL0556-62-0066

令和2年10月5日 編集: 校長 佐野三代司

学校の理念「すべての子どもに笑顔あふれる学校をつくる」

運動会へのご協力 ありがとうございました



先日の運動会では、保護者の皆様に、多大なご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。当日は、秋雨前線の影響でお天気がたいへん心配されました。本校の校庭は、あまり水はけが良い方ではなく、前日にあまり大雨が降ると、翌日の運動会に影響が出るのが予想されたためです。直前になって台風は逸れることになったものの、長引く秋雨前線の影響を受けることとなってしまいました。

前日に何度も天気予報を見る中、一旦はグラウンド整備の時間を考慮し、30分遅れを考えました。しかし、26日当日の早朝の校庭は延期を決断せざるを得ない状況でした。早朝暗いうちからPTA会長の遠藤さんにも学校へ来ていただき、判断に加わっていただく中で、「順延」とさせていただきます。仕事の都合をつけて、かねて運動会の予定を入れていただいた保護者の方には申し訳なく思いました。

保護者の皆さんに感謝！

翌27日早朝のグラウンドは、前日よりもずっと状態が良く、「これなら……」と職員と喜びました。朝7:00にはPTA役員の方々、特にお父さん方に集合をお願いし、校庭への砂入れ作業を行っていただきました。砂場の大きな砂の山2つ分が短い時間で無くなってしまいう程、大勢の方の熱心な作業のおかげで、少し柔らかいところがあった校庭も、ベストコンディションと言える状態までになりました。運動会の主役はもちろん子どもたちですが、その子どもたちの活躍の場を支えてくださるのは、正に保護者の皆さんであることを実感した場面でした。

加えて、支部役員の皆さんには支部テント張りにご尽力いただきました。片付けも、役員さんに限らず、多くの保護者の皆さんに力を貸していただき、短時間で終了できました。本当にありがとうございました。

コロナ禍での運動会でも 大切にしたいこと

今年は何と言っても、コロナ感染症対策に大きな影響を受けた運動会となりました。規模を縮小し、半日開催とせざるを得ませんでしたし、来場者の人数制限もかけさせていただきました。様々な制限がある中で、子どもたちに、運動会への取組を通してどんなことを経験させ、学習としていくか、学校職員で話し合いながら工夫を重ねてきました。できるだけこれまでの運動会の内容を生かし、学校生活の思い出となるような行事を経験させたい、そして、6年生を中心とした子どもたち同士の関わりを大切にしたい、と考えました。特に、最高学年である6年生が運動会の取組の中で活躍することは、下の学年の子どもたちの良い手本、めざす姿になります。短い取組期間とはいえ、今年の6年生も最上級生として立派な活躍を見せてくれました。

コロナ禍、また、天候の影響で変えざるを得ないことも多かった運動会ですが、その中で変わらないこと、言い換えれば、大切にしなければならないことも確認できた運動会であったと思います。思い出に残る特別な運動会、とも言えるでしょう。

多くの方々のおかげで、実りある運動会が円滑に実施できましたことに、重ねて感謝申し上げます。今後とも本校教育活動への、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



運動会スナップアルバム



はじめの体操（ラジオ体操）



いい勝負！3・4年リレー



カー杯引いた5・6年綱引き



かわいく踊った1・2年生



次の1年生も参加してくれました



見事なカラーガード！3・4年



応援席ではマスク、拍手の応援



仲よし親子でがんばりました



5・6年リレー、緊張のスタート



たくさん入りました、3・4年



よーい、ドン！1・2年リレー



力強いソーラン節でした、5・6年



終わりの頃には、すっかり秋の青空になりました。閉会式後、色別で記念写真です。